

..... 編集後記

◆ 今月号は特集「沖縄海域(その2)」原稿7編とその他5編です。特集は沖縄海域の火山活動、熱水鉱床、堆積環境、サンゴ礁、物理環境に関する報告です。本海域は地球環境、資源開発、地球科学などの観点の研究が期待されています。その他は下総層群、つくば科学フェスティバル、ワンポイント解説、地質調査のパートナー、書評に関する報告です。

◆ 特集では、まず下司 信夫さん・石塚 治さんが北琉球弧の火山活動について、火山フロントと背弧側の沖縄リフトに分けて紹介しています。中琉球以南では両者は収斂し、リフト内での火山活動のみとなります。原口 悟さん・児玉敬義さんは、旧金属鉱業事業団が実施した沖縄トラフの深海底鉱物資源調査事業について紹介しています。この調査によって4地点で鉱化帯が確認されるとともに、熱水活動と地質構造特性との関連が明らかにされました。片山 肇さんは東シナ海における陸源堆積物について検討し、供給源としては黄河と長江に加えて、台湾からの供給も無視できないと指摘しています。池原 研さんは東シナ海の堆積作用と古環境変遷について、特に黒潮の勢力の変動に関連づけて報告しています。また、東アジアモンスーン変動に関わる研究課題を提案しています。田中裕一郎さんは琉球列島周辺海域の有殻・植物プランクトンおよび有孔虫群集の地理的分布と海水環境との関連について紹介しています。今後、経年変化の調査が必要と指摘しています。鈴木 淳さん他はサンゴ礁の衰退に関わる富栄養化、赤土流入、海水酸性化、海面上昇などの諸問題について紹介しています。サンゴ礁を保全することは生物多様性保全や漁獲高の増大にも繋がるということです。

長尾正之さん他は保全すべきサンゴ礁と周辺海域での流れ、波浪、物質と熱の輸送現象を計測する技術開発を目指して、八重山諸島周辺で乱流混合強度と海洋表層の流れを実測しました。井上卓彦さんは表紙に石灰岩露頭の写真を、井龍康文さんは口絵にサンゴ礁と石灰岩の写真を掲載しています。

◆ 中澤 努さんと中里裕臣さんは、関東平野中央部の下総層群の紹介をしています。多数のボーリング資料を用いて堆積サイクルとテフラ鍵層を認定することで、極めて詳細な地層対比を可能としました。このような研究によって、都市環境の研究が新たに進められています。

◆ 井川敏恵さん他は、昨年秋につくば市が主催した「つくば科学フェスティバル」で実施した「化石のキャストを作ろう」の報告をしています。体験者が354名にも達し、大変盛況でした。

◆ 玉生志郎は、新設したワンポイント解説として、読者から質問のあった「非火山性の温泉」について解説しています。

◆ 古川竜太さんは、シリーズ地質調査のパートナー(6)「ヘルメット」で、その強度の経年変化や形状による安全度の違いについて紹介をしています。

◆ 目代邦康さんは絵本「おがわたくじ」の書評を寄稿しています。

◆ 沖縄海域の特集で、サンゴ礁の保全には多くの事象が複雑に関連していることが判りました。美しい沖縄の海を守るためにも、今後の研究が期待されます。読者の皆様からのご意見を、お待ちしております。

(玉生志郎)

地質ニュース編集委員会

委員長：玉生志郎

副委員長：吉田朋弘

委員：藤原 治・光畑裕司・高木哲一・

七山 太・酒井 彰・高橋裕平

連絡先：地質調査総合センター

地質ニュース編集委員会事務局

〒305-8567 茨城県つくば市東1-1-1

Tel. 029-861-3754 Fax. 029-861-3746

E-mail: g-news@m.aist.go.jp

地質ニュース

第634号 2007年 6月号

定価 ¥785 (本体価格 ¥748) 千実費

2007年6月1日 発行

編集

産業技術総合研究所

発行人

株式会社 実業公報社

代表者 林 光生

発行所

株式会社 実業公報社

東京都千代田区九段北1の7の8 〒102-0073

Tel. (03) 3265-0951 Fax. (03) 3265-0952

http://www.jitsugyo-koho.co.jp

E-mail: jk@jitsugyo-koho.co.jp

振替口座 00110-6-32466

麹町局私書箱第21号



表紙右下のロゴについて：地質調査総合センターは、国際惑星地球年 (IYPE) に賛同し、活動を支援しています。

●本誌は東京都の霞ヶ関政府刊行物サービスセンターに常備してあります。また、最寄りの書店でも注文できます。

●地質ニュースに関するご意見は編集委員会へ

©2007 Geological Survey of Japan